



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2760

# ガバナー月信

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER 1998-'99

国際ロータリー第2760地区 ガバナー 内藤 明人  
事務所 〒450-0002 名古屋市中村区名駅4-3-25 ホテルキャッスルプラザ1402号室  
TEL052-581-2020 FAX052-581-1133



寒くてちぢこまっていた冬がやつといっちゃったみたい。なん  
かうれしくてこんな顔になっちゃうよ。南半球のお友だちこれ  
から寒くなるから気をつけてね。

1999.2.20 No9 世界ローターアクト週間

本誌は、環境にやさしい再生紙を使用しております。



# 愈々ロータリー 活動本命の時期

— 3月はRAC週間 —

1998~'99年度 国際ロータリー第2760区  
ガバナー 内藤 明人

1998~'99年度の第2760地区のロータリー活動も愈々後半に入り、充実した活動の時期に入ってきました。昨年11月の地区大会において会員各位の熱意溢れる参加により、盛大に開催出来たことに心から感謝しております。これから後の後半は愈々具象化の時期です。この2月・3月は8分区全部のIMが開かれます。それも、RIレイシーカー長の「夢を追い続けよう」を旨に、「ユースイズムに立とう」、「新世代に光りをあてよう」を中心としたIMが開かれ、また開かれようとしています。この時期こそ「奉仕の実感を享受する」時であり、ロータリー活動の本命の時であると思います。

いうまでもなく、IMは分区の地区大会で、分区の会員が友愛と親睦の輪を広げ、上記のテーマを確かめ、奉仕の活動の充実を計る時だと思います。各委員会の活動としては、米山奨学生選考会、ロータリー財団委員会、青少年交換三者懇談会、RCC委員会、地区ライラセミナー等、運営の基本行事が続いている。

また、IAC（尾閥学園）設立総会、名古屋西RCの45周年（2月4日）、豊川RC40周年（2月6日）、江南RAC20周年（2月21日）、名古屋東南RC30周年（3月12日）、刈谷RC45周年（3月）等の式典が開かれます。夫々がRCの歴史に残る行事となることを期待しております。

3月はローターアクト週間です。

ローターアクト・クラブは、ロータリークラブ提唱の18才～30才までの青年男女によって構成される世界青年団体クラブで、1968年に発足し、RI理事会は1992年に3月13日を「世界ローターアクトの日」としました。そして1993年からRAの25周年を記念して、3月13日を含む1週間を「世界ローターアクト週間」に制定しました。現在私ども第2760地区のRACは10クラブ、会員数は237名で、日本全体のRACは444クラブ、会員数は6,193名です。また全世界RACは昨年末で6,133クラブ、会員数は141,000名と報告されています。

今我々日本人には、教育、環境、高齢化、国際化等、多くの問題を抱えており、21世紀に向けて新世代において考えて戴く課題が数多くあり、RACの活動に大いに期待するところです。

各クラブは、スポンサーをされているRACの運営と奉仕活動に、積極的なご指導とお力ぞえを戴きますようお願いします。

# 青少年教育と社会の関わり



地区ローターアクト(小)委員会委員長 石川 敬

いま日本で教育改革が進もうとしている。その改革の基本は英國の教育改革に学ぼうとしているようだ。ただ英國の改革で重視された「個別学校の自治的経営」と「父母の学校アクセス権の確立」という要素が日本改革では軽視されているとのことである。

聞くところによれば、英國では地方教育委員会の権限は大幅に縮少されて、各学校にその運用の権限が任されていることである。すなわち、学校には学校運営理事会がある。また父母には、学校情報を知る権利や学校の進路変更を申請する権利などが与えられている。日本とは大違いである。

日本における教育改革の中心課題は、いじめ・暴力・非行・不登校の教育現状をなんとしても改革したいという事実である。英國における問題の中心が学力向上にあったのとは基本的に状況を異にしているという点である。しかし、父母や国民が現在の学校のあり方に強い不信と批判がある点は同じようである。ただ日本では、こうした不信・批判が学校・教師に向けて集中しているのに対し、英國では当時の官僚機構の官僚統制に向けられていることである。

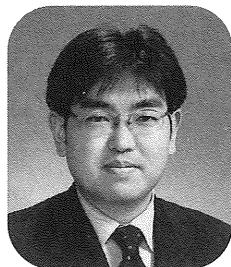
日本で教育的事件が発生すれば、決まって教師や学校または父母が非難の対象になる。モノ・カネ・ヒトを動かす権限を有し、一番の責任のある教育官僚機構は非難からなぜか免れている。英國は逆である。教育活動を官僚機構が統制していることが、学校の自由・創造性・自治を抑え、父母や住民らの要求や参加を排除してきたのである。そして、改革問題では改革される主役が逆転されている。本来真っ先に改革されるのは、画一教育を徹底した官僚機構に向けられるべきであるのに、いまだに官僚機構とその任命された審議会が改革案をまとめている現象をどう考えたら良いのか理解することが難しい。そこには現在の教育問題が社会の中にはあって、極めて

深刻な事態にあるという認識。教育的改革の自己責任のあり方が何かボケてはいないか。社会のニーズがいまどこにあるのか。今一度考え方がある。

確かに改革の方向として「画一的の打破、自由な個性の重視、意欲と柔軟な発想、多様性ある工夫」など言葉は立派に発言されている。しかし、このような言葉が教育現場に登場してきたのは今に始まったことではない。では、今なぜ教育の現状がこれらの言葉の逆になっているのか。それは言葉はあっても官僚機構は「指導・助言」を行政指導の名のもとに、事実上「指揮・命令」として、異様に強い権限で教育統制をしているからである。いま日本では、これらの行政指導教育が抜本的に機能しない状況にまで追い込まれている。今日ほど教育の世界で、自主性・創造性という個性が求められているときはない。ここでも規制緩和は確実に必要となって来ている。

今の若者達の行動を慎重に分析した現場教育者の話によれば、いじめの問題も登校拒否の問題も、解決法はひとつであるようだ。子供達は、尊敬出来る大人を求めているということである。親の目から見て、子供が誤った方向に行きつつある時は、子供は自分を理解してくれる大人、または尊敬に値する大人を求めているという事である。それもたった一人いれば良いのに、今はそれすら難しいようである。子供が父親を尊敬に値するかどうか疑問を抱く時期がある。この大事な時期にいまの日本の母親たちは、己の夫である子供の父親を尊敬している姿を、子供に見せ続けていないのである。いや、子供に父親ダメ論を見せ続けていかどうかである。若者達の不幸は、日本では多く母親のせいとも考えられるゆえんである。いま一度、青少年教育の中で「家庭教育」のあり方を見直してほしいと願うものである。

# 「世界ローターアクト週間」 の活動報告と今年度の活動予定



ローターアクト地区代表 石田 雄三

日頃は我々ローターアクトの活動に多大なるご協力・ご支援頂きまして、誠にありがとうございます。

今年度が始まってはや8ヶ月。ローターアクトの地区行事も国内研修・部門別協議会・海外研修と大成功のうちに無事終了することができました。今年の5月には我々ローターアクターの活動集大成ともいえる『地区年次大会』が岡崎RACのホストで行なわれる予定です。これからもロータリアンの皆様の変わらぬご指

導・ご鞭撻賜りますようよろしくお願い申し上げます。

3月13日に世界ではじめてのローターアクトクラブがアメリカのノースカロライナ州に誕生したことを記念しての『世界ローターアクト週間』(3月13日を含む1週間)には、地区内各クラブ毎に、それぞれ祝賀行事としてのプロジェクトが企画されておりますので、昨年度の活動報告を含めて、今年度の企画を以下にご報告いたします。

## 岡崎 R A C

昨年度は、一昨年度からはじまった、提唱4RC主催による「新世代のためのロータリー会議」を3月8日に実施。RC・RACのほか、IAC・JCにも広く呼びかけ、総勢60名が参加して、「高齢化社会にむかって」のテーマに基き、ディスカッション形式で会議が進められた。

今年度も、「新世代会議のためのロータリー会議」を3月7日に予定。ロータリー関係者以外にも広くPRの出来るテーマを検討中。



▲新世代のためのロータリー会議 岡崎RAC

## 豊橋 R A C

昨年度はアクト週間に關しての活動実績なし。

今年度は継続的に続いている、地域奉仕活動の一環として、清掃活動を予定。地域にさらなるローターアクト活動のアピールを目指している。開催日については未定。

## 田原 R A C

昨年度、田原ロータリークラブ・田原パシフィックロータリークラブとの合同例会を開催。内容は、世界の国々と日本の学校教育の相違点をテーマにし、韓国人従軍慰安婦問題について話し合いました。今年度は、田原にある藏王山のふもとの権現の森の清掃活動を行なう予定。

田原RACは「権現の森運営委員会」に参加しており、当日は、ごみ拾ったり、遊具の整備などを行なう予定。

## 一宮 R A C

昨年度は、提唱4RCから出品物の提供をお願いして、チャリティーバザーを開催。収益金を「世界のこどもにワクチンを」活動に寄付した。

今年度は、会員増強・親睦を目的とした「ボーリング大会」を予定。提唱RC、また地区内RACに広く呼びかける予定。

## 世界ローターアクト週間

### 名古屋港 R A C

昨年度は、ロータリークラブとの親睦をはかり、アクトOB又ロータリーのご子息を交えてベースボール大会を開催。今年度については、現在計画中。

### 江南 R A C

毎年、世界ローターアクト週間には、江南市立養護老人ホーム「むつみ」を慰問。

昨年度は、ペットボトルのリサイクルというテーマで、ペットボトルに絵を描き、土を入れ、花を植えるという簡単なガーデニングを開催。天気も良く、ホームの方々にも楽しんでいただけた企画となつた。

今年度も、昨年度のように、楽しく過ごせる1日を計画中。



▲養護老人ホーム「むつみ」訪問風景 江南RAC

### 名古屋熱田 R A C

昨年度、アクト週間における活動実績はなし。

今年度は、国際奉仕活動の目標として「ユネスコ・世界寺子屋運動」を掲げており、今までに、ユネスコ理事田川清氏を招いた講演会を開催し会員の意識向上を計った。また、毎年恒例のクリスマスパーティーにおいて、チャリティーオークションを行い、収益金を募り寄付した。

世界ローターアクト週間に向けて、更に強化した活動を計画中。

### 小牧 R A C

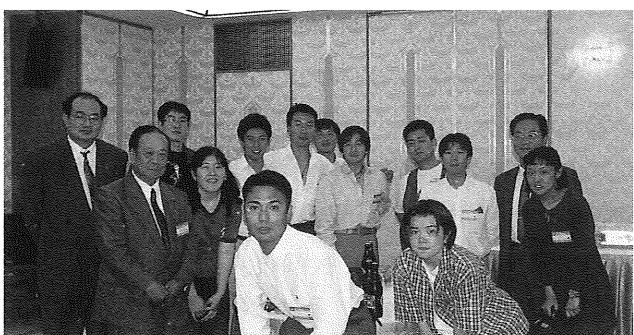
例年、世界ローターアクト週間には提唱RCの皆様との親睦を目的に“お食事会”を開催。昨年度は、ロータリアンとアクター混合でチームを作り、クイズ対決をした。留学生の方にも出席していただき、また会員増強の意味も含めロータリアンのご子息にも数名ご参加頂き、楽しく親睦を深めることが出来た。

今年度は、提唱RCとの合同例会を開催予定。内容は決定していないものの、多数のロータリアンの参加により、より一層の親睦を深める予定。

### 東海 R A C

昨年度は提唱RCとの合同例会を開催。会員紹介・海外研修報告等、ロータリアンとの相互理解に努めている。

今年度も、例年通り、合同例会の開催を予定。



▲～合同例会を終えて～親睦を深められたかな？ 東海RAC

### 名古屋名城 R A C

例年、世界ローターアクト週間において、RC・RAC・IAC合同で名古屋・栄のセントラルパークの清掃活動を実施。昨年度は、約100名が参加しての大掛かりな行事となった。

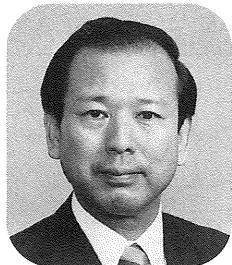
クラブ発足当時の継続事業なので、今年度も同様に開催予定。

以上が、地区内10ローターアクトクラブの世界ローターアクト週間における昨年度の活動実績と本年度の企画です。

これからも、ローターアクトクラブ活動に関する更なるご協力を願い致します。

# 新世代の育成 『青少年の物づくりの体験』

## 盛大に開催



地区青少年活動委員会委員長 坂本 康信

去る12月20日（日）産業技術記念館において開催されました内藤ガバナー主宰による「新世代の育成－青少年の物づくりの体験」は、70クラブ、青少年335名、ロータリアン170名、計505名の参加のもと盛大かつ大成果をもって終了致しました。

主旨は、地区内各ロータリークラブに関係ある新世代（中学生）とロータリアンが、産業技術記念館において共に楽しく物づくりについて学び、又実際に物をつくる体験を通して、今日物の豊かさの中で失われている物を大切にする心を青少年に育むことを目指すものでした。

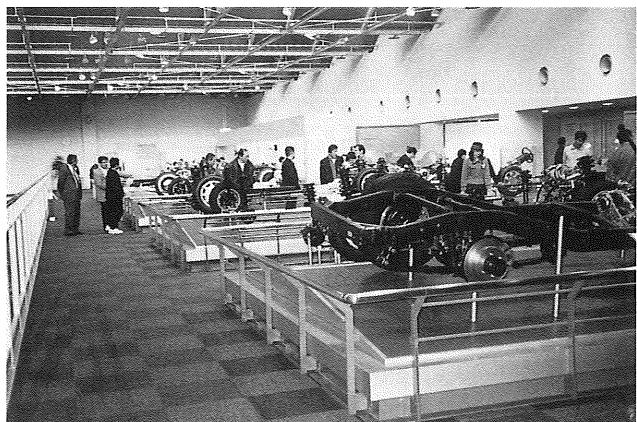
10時30分開会、ロータリアンによるロータリーソング「奉仕の理想」の斉唱後、内藤明人ガバナーの青少年への熱い思いの挨拶後、11時～12時30分迄直ちに2班に分かれて、産業技術記念館内を各クラブ引率のロータリアンと共に見学、物づくり体験－光センサーを使った目の光る動物をつくる事への挑戦。



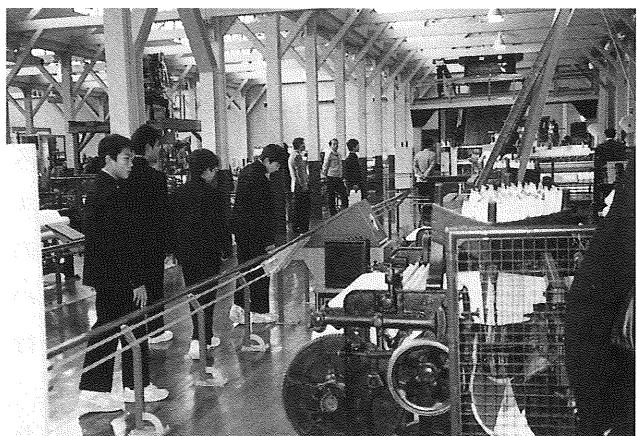
▲「青少年の物づくりの体験」で挨拶される内藤ガバナー

12時30分～13時30分昼食。13時30分～15時迄、午前と同じ内容を班を交替して実施。

★見学は、繊維機械館で紡ぐ、織る技術基本、繊維機械のうつり変わり、自動車館では、自動車のしくみと構成部品、又創業時代から現代に至る自動車技術と生産技術のうつり変わりを学び、更にテクノランドでは、機械の原理や機構を体験し、参加者一同大変興味をそそる。



▲産業技術記念館内の自動車館を見学



▲産業技術記念館内の繊維機械館を見学



▲物づくり—目の光る動物を作る中学生たち

★物づくりは、光センサーを使った目の光る動物を作る事に挑戦。具体的には、スイッチ付電池ボックスの組立てから始まり、基盤に光センサー、トランジスター、抵抗（2種類）、発光ダイオード、電池ケースを取りつけて、基盤の裏側で配線する。更にふくろうの絵に色をぬり、両目とセンサーの位置に穴をあけ取りつけ、暗くなるとセンサーが働き目の

発光ダイオードが赤くつくように完成させる。

簡単そうに見えるがやつてみると、部品が小さいので、注意深く扱い、設計図をよく見て、考えて取り組まなければ

▲物づくり—ふくろうづくりに励む ならないので、なかなか難しい。

ゆえに一つでも出来上がると喜びは大きく参加者一同は時間を忘れ、物づくりに熱中し、日頃余り経験できない時を過ごしました。

3時より閉会、8分区より代表の中学生に見学及び物づくりの感想を述べてもらう。見学では物が造られる様子がわかつたこと、特に自動車の作られる工程とその部品について学んだことが印象的であった。物づくりは、難しかったがおもしろく、こういう機



▲物づくり—ふくろうづくりに励む

ならないので、なかなか難しい。

ゆえに一つでも出来上がると喜びは大きく参加者一同は時間を忘れ、物づくりに熱中し、日頃余り経験できない時を過ごしました。

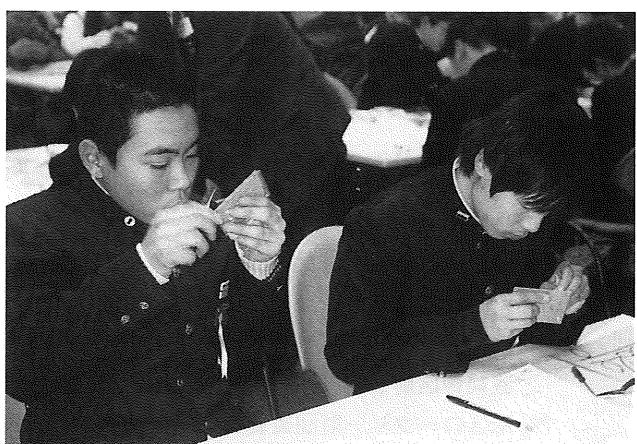
会をもっとつくって欲しい、又参加したい、女生徒の多くは大変難しかったが、でも一つ出来たとき大変うれしかったなどの意見が出され、成功裡に終わった。

最後に内藤ガバナーが講評され、「今、世の中は物を大切にしない風潮があり将来が心配であるが、今日参加された新世代の皆さんとのづくりへの取組を見ていたら21世紀は心配ないことがわかり嬉しく思うと共に、これから新世代の更なる研鑽の期待を」述べ、まとめとされました。

続いて新世代とロータリアンが手をつなぎ、ロータリーソング「手に手をつないで」を合唱して閉会しました。

今回の企画、運営を内藤ガバナーより地区青少年活動委員会で担当するように仰せつかり、岩間地区幹事、鈴木副幹事のご支援と共に地区青少年活動委員会福田カウンセラーのご指導、委員のご協力のもと企画、準備して推進致すことができ、又ガバナー事務所の関係者の皆様には、目に見えない陰の働きを頂き、更に名古屋西ロータリークラブの皆様にはホストとして準備、受付の役を担って頂きこの場を借りて深甚なる感謝を申し上げます。

最後に、内藤ガバナーをはじめ分区代理の皆様、新世代の中学生をお送りくださった各クラブ及び引率のロータリアンの皆様に心より感謝の意を申し上げます。



▲物づくりに熱中、完成間近

## 新世代会議の報告

### 4クラブ合同新世代会議報告

日時／1998年12月23日（祝）

場所／熱田神宮「神宮会館」

名古屋南R C青少年活動委員長 吉岡 正人

新世代育成事業の一環として、名古屋南・東南・瑞穂・名南R C合同の「第3回新世代会議」が改装オープンとなった熱田神宮「神宮会館」で平成10年12月23日の天皇誕生日に開催されました。本年度は名古屋南ロータリークラブが主幹事として年令30才までの若い人材育成を目的とし、ロータリーメンバーとして新世代のために何をなすべきかを考え「21世紀へ向けての青少年のあり方」というテーマのもとに教育学者の濱川栄太先生を講師にお迎えしました。当日はお天気も良く、特別出席者として春日良平西名古屋分区代理・安藤友一地区副幹事・坂本康信地区青少年活動委員長のご参加をいただき、4クラブ会員をはじめとし会員の子弟・従業員・ローターアクトクラブ会員等多数の方々にご参加いただき110席用意した席が、ほぼ満杯になるほどの盛況ぶりで

した。吉岡南ロータリークラブ青少年活動委員長の開会宣言ののち、安藤地区副幹事・大島南ロータリークラブ直前会長の挨拶に続き、濱川栄太先生の基調講演に入りました。濱川栄太先生はご自分の体験に基づいた青少年とのふれあいにより得た教訓・親のあり方等を話され、又話の内容は歴史・政治・教科書問題等多岐に及びあつという間の2時間でした。質問も多数出され、そのお答えも熱意を持って話され、氏の考えが伝わったような気がしました。若者たちとともに共感を得、感動を与えた一日でした。



### 第2760地区ニュース・その他

### DDF選択会議報告



日時／1998年12月10日（木）

午後4時～6時30分

場所／ホテルキャッスルプラザ

3F亀の間

地区ロータリー財団委員会委員長 矢島 茂

出席者 地区ガバナー

内藤 明人

松前 憲典

地区ガバナーノミニー

野村 重彦

藤本 博之

地区次期ガバナーノミニー

福田 清成

前田 孝司

パストガバナー（財団カウンセラー）

蜂谷 弘道

直前地区幹事

片山 主水

地区ロータリー財団委員長

矢島 茂

地区財団奨学金(小)委員長

三浦 多久二

地区ポリオプラス(小)委員長

酒井 孝

2000～2001プログラム年度（1997～'98寄付年度）の地区財団活動資金 DDF 503,717.09 U.S. ドルのプログラム選択について慎重審議の結果、次のとおり配分致しましたのでご報告申し上げます。

①人道的分野：同額補助金（提唱側負担分） 50,000.00

②教育的分野：1学年度奨学金 12名 276,000.00

2年マルチ・イヤー奨学金 6名 132,000.00

③プログラム強化分野：GSE語学研修助成金 500.00

GSEオリエンテーション助成金 500.00

④他地区への寄贈：9ヶ月ジャパンプログラム-D3360

25,000.00

合 計 484,000.00

未配分額 19,717.09

## 第2760地区ニュース・その他

### 特別寄付報告書

(1998年11月分)

第2760地区

財団法人ロータリー米山記念奨学会理事長 末永 直行

クラブ名	クラブ扱入金額	個人扱入金額	法人扱入金額	合 計	件 数
安城	0	60,000	0	60,000	1件
知立	0	60,000	0	60,000	2件
浦郡	0	300,000	0	300,000	1件
半田南	0	130,000	0	130,000	3件
一宮	0	1,020,000	0	1,020,000	34件
稲沢	0	400,000	0	400,000	4件
犬山	0	960,000	0	960,000	31件
名古屋千種	0	740,000	0	740,000	28件
名古屋北	345,000	320,000	50,000	715,000	8件
名古屋名北	140,000	200,000	0	340,000	5件
名古屋港	0	710,000	0	710,000	10件
名古屋守山	0	0	700,000	700,000	2件
名古屋昭和	0	750,000	50,000	800,000	23件
岡崎	0	110,000	0	110,000	11件
岡崎東	12,749	420,000	0	432,749	11件
岡崎城南	63,000	0	0	63,000	1件
岡崎南	0	800,000	0	800,000	60件
豊橋ゴールデン	100,000	0	0	100,000	1件
豊橋北	0	60,000	0	60,000	2件
豊橋南	0	110,000	0	110,000	4件
豊川	0	570,000	0	570,000	18件
豊田	0	30,000	0	30,000	1件
豊田東	0	930,000	0	930,000	27件
豊田三好	0	30,000	0	30,000	1件
合 計	660,749	8,710,000	800,000	10,170,749	289件

### にぎやかに15周年を祝う

日時／1998年12月12日（土）

場所／名鉄グランドホテル

尾張中央R C幹事 大島 俊三

創立15周年を記念する尾張中央ロータリークラブの第729例会と記念式典は、去る12月12日、名鉄グランドホテルで盛大に催された。

長瀬保師勝町長・上野政夫西春町長はじめ、国際ロータリー第2760地区ガバナー代理など来賓25名のほか、親クラブである西春日井ロータリークラブの全員参加を

含め、約200人が出席。平野会長のあいさつ、大島幹事の来賓紹介、前田実行委員長の記念事業披露、平野会長からロータリー財団、米山記念奨学会への特別寄附贈呈、来賓祝辞などがあった。



このあと祝宴と家族会に移り、会員や会員夫人をまじえ、アトラクションの民謡などを楽しんだ。

## 第2760地区ニュース・その他

### 特別寄付報告書

(1998年12月分)

第2760地区

財団法人口ータリー米山記念奨学会理事長 末永 直行

クラブ名	クラブ扱入金額	個人扱入金額	法人扱入金額	合 計	件 数
あま	0	30,000	0	30,000	1件
知立	0	590,000	0	590,000	19件
碧南	172,000	300,000	0	472,000	2件
東知多	210,000	480,000	0	690,000	9件
一宮	0	390,000	0	390,000	13件
一宮中央	0	600,000	0	600,000	16件
刈谷	101,000	0	0	101,000	1件
小牧	0	90,000	0	90,000	3件
名古屋	0	100,000	0	100,000	1件
名古屋東	0	1,430,000	0	1,430,000	37件
名古屋名駅	0	900,000	50,000	950,000	27件
名古屋名北	0	130,000	0	130,000	2件
名古屋名南	0	1,230,000	0	1,230,000	40件
名古屋名東	0	0	750,000	750,000	2件
名古屋守山	0	600,000	0	600,000	2件
名古屋西南	0	1,150,000	0	1,150,000	4件
名古屋昭和	0	60,000	0	60,000	2件
名古屋和合	2,188	0	0	2,188	1件
岡崎	0	150,000	0	150,000	6件
岡崎東	-20,368	90,000	0	69,632	5件
岡崎南	0	110,000	0	110,000	5件
尾張旭	0	190,000	0	190,000	7件
尾張中央	0	900,000	0	900,000	3件
田原	0	300,000	0	300,000	10件
田原パシフィック	0	353,400	0	353,400	59件
豊橋北	0	30,000	0	30,000	2件
豊橋南	0	270,000	0	270,000	1件
豊川	0	480,000	0	480,000	16件
豊川宝飯	0	840,000	0	840,000	28件
合 計	464,820	11,793,400	800,000	13,058,220	324件

### 東海RCよりお知らせ

東海ロータリークラブは、新世代育成事業の一環として、11月23日(祝)第20回東海ロータリー旗争奪小中学生剣道大会を盛大に開催。

心身共にたくましい子どもたちの成長を期待している。

東海ロータリークラブ会長 菊本 一三



## 第2760地区ニュース・その他

### ＝訂正のお願い＝

- 1月20日号（No.8）に紹介がありました（P、13）次期ガバナー補佐のご紹介で南尾張分区担当が鈴木千里さんから石川八郎さんに変更となりましたので写真と略歴を下記に紹介いたします。

#### ■ 南尾張分区担当



石川 八郎

昭和13年（1938年）12月25日生  
半田RC  
(綿織布)  
イシカワテキスタイル(株) 代表取締役  
1979年1月 半田RC入会  
1982~'83 幹事  
1997~'98 会長  
ポール・ハリス・フェロー  
米山功労者

- 1月1日号（No.7）にお知らせ致しました、福田次期ガバナーノミニーの（P、25）ご自宅の電話番号0587-55-0479は間違いました。正しい電話番号は0587-54-6262です。ご訂正下さい。

- 1月20日号（No.8）の最終頁の出席報告で左下の分区名が南名古屋となっておりましたが西名古屋の間違いでした。ご訂正ください。

#### 訃報

謹んでご冥福をお祈り申し上げます

伊藤 午一様	(名古屋港RC)	1月14日
長田 鉄也様	(半田RC)	1月17日
明日香榮文様	(名古屋RC)	1月19日
渡邊 嘉一様	(常滑RC)	1月23日
岡本 健治様	(名古屋瑞穂RC)	1月26日

### 文庫通信 136号

- 「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。
- ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料（貸出可）など、1万8千余点を収集・整備し、皆様のご利用に備えています。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。
- クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

### 「活動するロータリー」

- ◎「広報を担当される方のために」 D.265 1985 33頁 [申込先 ロータリー文庫（コピー）]
- ◎「『友』を読む。『友』を生かす。—雑誌委員長アンケートの回答から—」 D.2770 1998 16頁 [申込先 D.2770 FAX (0480) 40-1382]
- ◎「ロータリーの広報—私に広報委員は務まるのでしょうか」 D.2650 1998 19頁 [申込先 砂山憲一 TEL (075) 801-0022]
- ◎「行動するロータリー 二十一世紀奉仕活動の視点」森口行雄 1998 202頁 [申込先 D.2650ガバナー事務所分室 FAX (075) 251-0777]

#### ビデオテープ

- ◎「活動するロータリー：災害救援活動」R.I. 1994 15分
- ◎「活動するロータリー：保健と治療」R.I. 1994 15分
- ◎「活動するロータリー：ボランティア」R.I. 1994 16分
- ◎「活動するロータリー：飢餓と栄養」R.I. 1994 12分
- ◎「活動する国際奉仕：WCSに関するビデオによる研修」R.I. 1997 21分
- ◎「21世紀に向けてのロータリーの広報」R.I. 1997 9分

[上記購入：サービス・センター TEL (03) 3355-5391 借用：ロータリー文庫]

〒105-0011東京都港区芝公園2-6-3 abc会館7階 TEL (03) 3433-6456・FAX (03) 3459-7506

開館=午前10時～午後5時 休館=土・日・祝祭日

### ロータリー文庫

